

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 CILくにたち援助為センター

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ヘルパーフォローアップ講座の開催

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ヘルパーという仕事は、しょうがいをもつ人が地域で生活していくために必要不可欠な存在です。しかしながら、現在、ヘルパーを含む福祉職における人材不足は深刻です。人と人とが密接に関わり合う仕事の中で、短い期間で仕事を辞めてしまう人も少なくありません。しょうがいをもつ当事者から、人生の中で感じてきたこと、多くのヘルパーと付き合う中で感じてきた葛藤やその解決法など、本音を聞くことで、しょうがいをもつ人に共感し、共に育ちあう支援者として、ヘルパーという仕事を長く続けてもらえるようになることを目的とします。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①盲ろう者のコミュニケーションと生活
- ②人口呼吸器をつけての生活
- ③肢体不自由者・言語しょうがいをもつ人のコミュニケーションの取り方
- ④頸髄損傷者の生活・指示の難しさ

それぞれのしょうがいをもつ当事者を講師に招き、話を聞くだけでなく、受講者が体験し参加できるプログラムを組み入れて行いました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

この講座では、当事者の話を聞くだけでなく、当事者の思いをより近くに、深く感じてもらうことを目的として、全ての回に模擬体験を行いました(アイマスク・耳栓・ヘッドフォンを装着し、視覚と聴覚に障害がある人の体験、鼻マスクを使用し人工呼吸器の体験、文字盤を指差すことで意思を伝える、言語障害と四肢麻痺の障害がある人の体験、発語のみで相手に指示をする頸髄損傷者の体験)。この体験を通し、しょうがいをもつことで、どのような恐怖、困難を抱えた生活を送っているのかを、体感することができました。しょうがいをもつ人たちの思いに共感し、ホームヘルパーという仕事がいかに大切な存在であるかを、伝えることができたと思われまます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

例年よりも広報活動に広く取り組むことができたため、地域の派遣事業所のヘルパーや、興味をもった市民など、多くの方々の参加がありました。当事者による話と模擬体験を通じて、しょうがいをもつ人が地域の中でどのような思いで暮らしているのか、また、しょうがいをもつ人の地域生活における、ヘルパーという存在の重要性を、受講者に伝えることができたように思われます。しょうがいをもつ人もたない人が「共に生きる」ことができる社会について、受講者の皆さんとともに考えることができたこのヘルパーフォローアップ講座は、大変充実したものであったと感じています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



講師はみな、日々多くのヘルパーと関わっている、
しょうがいを持つ当事者の方々は、みなさんの思い
や疑問も、ざっくばらんに語り合いたいと思います。

共に生きる”を感じよう！連続講座
… ヘルパーフォローアッププログラムのご案内 …

私たち CIL くにたち援助為センターは、しょうがいを持つ人が地域で、いきいきと暮らしていけるよう相談支援、カウンセリングなど様々なサービスを提供している団体です。（国立市の障害者相談支援事業委託を受けています。）

このプログラムは、しょうがいを持つ人にヘルパーとして関わっている又は今後関わる皆さまに、ぜひ、ご参加頂きたいプログラムです。

しょうがいを持つ人の介助の中で“利用者の方は、なぜこうなのだろう？”、“この場面はどうも困るな・・・？”など、迷いや苦しさを感じることは少なくないのではないのでしょうか？

このプログラムで伝えたいのは、人生の始め又は中途から“しょうがいを持つ”人生を生きる当事者のココロの内、ホンネです。講師の方には“障害を持つ”人生の中で感じてきたことや、多くのヘルパーと付き合う中で感じてきた葛藤とそれをどう解決してきたのかも、率直にお話頂きます。

しょうがいを持つ人たちと寄り添い、共に生きるヘルパーとして、長く関わって頂きたい、そのためには、お互いの“本音”、“共感”を交し合うことが大切だと実感しています。結果として、事業所としての安定したヘルパー派遣にも繋がることと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

日程：2009年10月2日（金）・9日（金）・15日（木）・30日（金）
全回 1：30～4：30

※ 全回ご参加いただけると、尚理解が深まることとは思いますが、ご希望の回のみご参加という形も、歓迎です！

場所：東京都多摩障害者スポーツセンター、くにたち福祉会館
対象：現在お持ちの資格や、経験にかかわらず、どなたでもご参加下さい。
定員：20名（先着順）
参加費：資料代として1回500円
申込み：2009年9月25日（金）までに、当センターまでご連絡下さい。

主催：CIL くにたち援助為センター 担当：篠原、高岡
tel：042-572-3767 fax：042-573-5987 mail：cilkej@hotmail.com
※ この事業は、真如苑「Shinjo プロジェクト」の助成を受けています。

